

ふるさと納税のお願い

皆さんからいただいた寄附金は「ふるさと三豊応援基金」に積み立て、翌年度に「ふるさとの教育、子育て支援等に関する事業」「ふるさとの自然環境保全に関する事業」「ふるさとの父母のための福祉に関する事業」など6事業で活用させていただきます。寄附金は1件5千円から受け付け、3万円以上ご寄附いただいた市外在住の方には、ふるさと三豊のフルーツをお贈りします。

市指定の「寄附申込書」に必要事項を記入のうえ、郵便・FAX・Eメール等でお送りください。申込書は市ホームページからダウンロードいただくか、お電話いただければお送りします。全国からの応援をお願いします。

▶申し込み・問い合わせ
秘書課 73-3001

メールマガジン会員募集

知名度向上プロジェクトとして、広く三豊市を知っていただくために、メールマガジンの会員を募集しています。登録いただくと、月1回程度三豊市から旬の情報がメールで届きます。さらに、登録いただいている方の中から、年6回程度抽選で『みとよの“ほんまもん”』をプレゼントします。

ぜひ、友人、親戚、知人の方にもご紹介いただき登録をお願いします。

【登録方法】下のQRコードを携帯電話で読み込むと、メールアドレスが自動入力されます。

mitoyo1012@kk.88island.jp
そのアドレスへ空メールを送信するだけで登録ができます。

▶問い合わせ
地域振興課
73-3013



7町が一つになり市が生まれたように、このふるさと会もいろいろな方のご努力により三豊市ふるさと会として発足しました。ふるさと三豊への思いを一つにし、会員同士の交流を深めながら、三豊市とネットワークをつなぐことでお互いが発展するような活動になればと思っています。



副会長
栗本キミ代さん
高瀬町出身

東京みのふるさと会を平成17年に解散して以来、三豊市との連携によりふるさとへの貢献ができればとの思いから、故磯崎氏を中心に三豊市ふるさと会設立に向けて準備を進めてきました。会場でおられる讃岐弁や会員の皆さんの笑顔を見て、やっとその思いが実現できたのだと実感しました。



副会長
藤田真美さん
三野町出身

ふるさと会と三豊市、双方が発展できるよう連携・協力しあつて知恵を出しながら楽しく参加してもらえようかな会になればと考えています。今回、若い方の参加がありとても活気がありました。もっと若い人にも参加いただきたいと思っています。また、三豊の物産品を紹介する「ふるさと大使」としての活動も広がっていききたいと思います。



事務局長
藤田 克さん
三野町出身

ふるさと会 会員募集

関東・三豊市ふるさと会では、お互いの親睦を図るために、関東にお住まいの方を対象に会員を募集します。

なお、ご親族・知人などで関東にお住まいの方がおいでになりましたら、ぜひこのふるさと会のことをお知らせください。

- 申し込み・問い合わせ
関東・三豊市ふるさと会事務局
(03) 3264・6750
- 三豊市での問い合わせ
政策部政策課 73・3010



関東・三豊市ふるさと会を設立

関東在住の三豊市出身者でつくる「関東三豊市ふるさと会」の設立総会が、11月27日に東京さぬき倶楽部で開かれました。

会長に小川氏を選出

総会当日は、関東一円から会員約60人が集まりました。総会では、会則を定めるとともに役員を決定し、会長に小川秀興さん（詫間町出身）、副会長には栗本キミ代さん（高瀬町出身）と藤田真美さん（三野町出身）が選出されました。

地元三豊市からも、市長や議長らが駆けつけ、ふるさと会の門出を祝いました。

総会終了後には懇親会が開かれ、新たな会員同士の出会いや交流が生まれたようで、会場内では讃岐弁が飛び交い、あちこちで談笑する姿が見られました。

懇親会の司会は詫間町出身の宮武将吾アナウンサー、アトラクションでは山本町出身の藤川卓也さんのラップステージや仁尾町出身の藤岡友香さんの歌も披露され、会場は終始なごやかな雰囲気包

まれました。

この会は、旧三野町出身者でつくれた「東京みのふるさと会」で事務局長を務めた故磯崎暁さんの呼びかけで設立準備が始まりました。その意志を引き継ぎ設立に向けての調整や会員集めを行い、ふるさとへの想いを形にするべく「関東・三豊市ふるさと会」が設立されたものです。



会長 小川秀興さん
順天堂大学理事長
詫間町出身

三豊市は7町が集まってできた市です。お互いがお互いの良いところを称えあいながら、三豊市というものが一体感を深めていければと思います。香川県人会にも懐かしくていつも参加していますが、それ以上にこの会はもっともっと近い感じがします。7町の名前が極めてすらすらと出てきますし、大半の方とは初めてお会いしたと思いますが、とても懐かしい感じがしました。三豊市で生まれ育って、あるいは重要な時期を過ごした仲間として、兄弟のような親戚のようなつきあいが出来る会に発展していければと思っています。みんなで楽しく集まってふるさとを懐かしむ交流の場・助け合いの場としたらと思います。

(挨拶要旨)